

# 山の日情報

(第 32 号)

令和5年9月29日

秋田県生活環境部  
自然保護課

## 【活動記録】

県自然保護課では、令和5年度も山の環境整備を行うボランティア事業を3回予定しています。その第1回目を9月16日(土)に鳥海山の登山道で実施し、横手高校山岳部と地元山岳会など計31名でのボランティア作業となりました。



今回は矢島口の祓川ルート（五合目の祓川登山口から八合目の七ツ釜避難小屋まで）において、劣化により破損している標柱を新しいものに設置し直す作業とごみ拾いを行いました。嬉しいことに、ごみはほとんど見つからず、マナーが守られ、美しい環境が保たれていることが感じられました。

参加者を3班に分けて標柱を取り付けることとし、各班1本ずつの作業としました。（このほか、祓川ヒュッテ前で1本設置し、合計4本設置。）



このルートは、序盤は竜ヶ原湿原の木道を渡り、祓川神社を過ぎると本格的な登りとなります。六合目の賽の河原にて林間を進むと、七合目の御田で再び湿原が広がり、八合目の七ツ釜までの急坂を登ります。朝は小雨や曇りでしたが中盤では晴れが広がり、様々な山の表情を楽しみながら作業を行うことができました。

プレートをビス留めする電動ドライバーの扱いにも次第に慣れていき、作業はだんだんとスピードアップ。ほぼ予定どおりに進み、最初に作業した祓川ヒュッテ前と、各班で作業した標柱前で記念撮影を行い、下山しました。

1 班→  
六合目（賽の河原 手前）にて



← 2 班  
六合目（賽の河原 上部）にて

3 班→  
七合目（御田）にて



← 全体  
五合目（祓川ヒュッテ前）にて

登山道に設置された標柱は、山での遭難などを防ぐためにも非常に重要なものです。こうした登山道や標柱は当たり前のように整備されているように感じてしまいがちですが、これらは山岳会や美化団体、行政含め、地元の方々の努力により維持されています。山に登る際には是非、そうした方々の活躍にも思いを馳せてみてください。

このボランティア事業に対しては、今年も引き続き、明治安田生命相互保険会社秋田支社様から、参加者に飲み物を提供していただいています。たくさんの方々に支えられ、今年も事業を行うことができいております。この場を借りて、ご支援に感謝申し上げます。